

はじめましてのプロフィール

① 自分の情報

名前（ニックネームでも可）

顔写真／似顔絵

一緒に見に行く人に知っておいてほしいこと

（大きな声が苦手、暗いところでは足元が見えづらい、ゆっくり歩きたい など）

いつも または ときどき やっていること

（詩をつくっている、テニスをしている、寝るのが好き、鍼灸師をしている など）

② ミュージアムのこと

いい思い出のあるミュージアム・展示など（行ってよかったなあ、と思う場所）

これから経験してみたいこと（ミュージアムでこんなことがしてみたい）

メモ なんでもお書きください

相談受付票		記入日 年 月 日 ()	
		記入者名	
ふりがな 氏 名	初回相談方法	<input type="checkbox"/> 来所	<input type="checkbox"/> 電話
		<input type="checkbox"/> 文書	<input type="checkbox"/> FAX
		<input type="checkbox"/> 訪問	<input type="checkbox"/> メール
		経由機関	
		担当者	
所属(主催団体等)			
住所 〒			
電話番号		Eメール	
相談者属性	<input type="checkbox"/> 障害当事者 <input type="checkbox"/> 家族 <input type="checkbox"/> 障害福祉関係 <input type="checkbox"/> 文化施設 <input type="checkbox"/> 芸術家・文化団体・文化関係者 <input type="checkbox"/> 市民団体 <input type="checkbox"/> 教育関係者 <input type="checkbox"/> 医療関係者 <input type="checkbox"/> 自治体 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 報道機関 <input type="checkbox"/> その他		
相談内容	<input type="checkbox"/> 鑑賞 <input type="checkbox"/> 制作・発表の場 <input type="checkbox"/> 公募展情報 <input type="checkbox"/> 調査研究 <input type="checkbox"/> 人・活動の情報提供希望 <input type="checkbox"/> 情報発信協力 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 分類不可		
記入欄	(押さえておくこと:相談企画の概要(経緯・目的・対象・開催時間・場所など)、業務委託費の有無)		
対応内容	<input type="checkbox"/> 内部スタッフで対応 <input type="checkbox"/> 外部の専門家・機関・団体へ相談 <input type="checkbox"/> 参考資料の紹介・提供		
事務局欄	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 完了		

ふりかえり記録	記入日	年	月	日 ()		
	記入者名					
実施日	年	月	日 ()	方法	<input type="checkbox"/> オンライン	<input type="checkbox"/> 対面
カテゴリ	協働先					
ふりかえり参加者						
良かったこと・発見したこと(ポジティブな気づき)						
問題点・今後の課題など						
備考						
事務局記入欄						

実施概要記録	記入日	年	月	日 ()
	記入者名			
実施日	年	月	日 ()	カテゴリ
イベント名				
協働先・協力者・参加者				
目的				
当日スケジュール				
事前打ち合わせ (日時・参加者・オンライン／対面・内容の要点を記入)				
打ち合わせ～実施までの流れでの課題・気づき				
備考／自由記入				

記入例(みんなの場合)

運営表

作成・更新日 2023 年 1 月 20 日 (金)

イベント名 サイレントなゴルフ場!?! 手話や筆談でプレーを楽しもう!!

日時 2023 年 1 月 21 日 (土) 10 時 30 分 ~ 12 時 30 分

会場 せんだいメディアテーク1階オープンスクエア

運営スタッフ
みやぎデフキッズクラブ: スタッフA、スタッフB
みんなでミュージアム: 高橋、柴崎

持ち物
みんなでミュージアム: 筆談ボード(6個)、名札用テープ、ペン、アンケート用紙

その他
写真記録: 展覧会担当者①
映像記録: 展覧会担当者②

タイムスケジュール

時間	内容	詳細	場所	担当
9:15	スタッフ集合	・ボールに緑と白のシールを貼る ・スコア表にグループの数を書く	展覧会会場前	スタッフA、スタッフB、高橋
9:30		・段ボールに1 6の数字を書く		柴崎
10:00-10:15	参加者受付開始	【受付の流れ】 1参加者リストで名前を確認 撮影の確認→撮影NGの人は、たすきを渡す グループ番号が書かれたスコア表を渡す	受付前	高橋、スタッフB
		2検温・消毒、チケット購入		展覧会の受付担当者
		3荷物置き場に誘導、名札作成 ※会場内、バター制作コーナーの机とダンボールを使用 ※名札は下の名前で		柴崎
		4ルール説明動画のソファで待機	ルール説明動画のある場所へ移動	
10:30	プログラム開始	挨拶・スタッフ紹介 撮影の確認 (NGの人にピンクのたすき配布) 展覧会の趣旨説明 プログラムの流れ・ルール説明 プレー中に使える手話 (拍手・うまい・ナイス・惜しい)	ルール説明動画のある場所へ移動	進行:高橋、手話通訳:スタッフB ノートテイク:柴崎 高橋 展覧会担当者 スタッフA 読み取り通訳:スタッフB スタッフA
10:45	グループごとと活動	1 6のグループにわかれる バターを選ぶ ボールを配る (あらかじめスタッフが人数分もっておく) グループごとに自己紹介 (名前+趣味or好きなスポーツ) ※筆談ボードは会場内のイスやベンチに置く ※このときからサイレント! 必要に応じてスタッフがサポート グループごとにプレー		
12:10	集合、感想共有	グループから数名、簡単に感想を話してもらう	ルール説明動画のある場所へ移動	進行:高橋、手話通訳:スタッフB ノートテイク:柴崎
12:25	お知らせ	○アンケート配布 ○その他のイベントの告知		
12:30	終了	荷物を回収して解散 (忘れ物がないか確認)		

ふりかえり記録

記入日 2023年2月24日（金）

記入者名 高橋

実施日 2023年2月21日（火）

方法 オンライン 対面

カテゴリ ワークショップ

協働先 せんだいメディアテーク、みやぎデフキッズクラブ

ふりかえり参加者

Aさん（みやぎデフキッズクラブ／ろう者）、Bさん（みやぎデフキッズクラブ／手話通訳）、Cさん（手話通訳）、Dさん（せんだいメディアテーク）、Eさん（せんだいメディアテーク）、柴崎、高橋（みんミ）

良かったこと・発見したこと（ポジティブな気づき）

- 全体的に良かった。ろう者、難聴者に触れ合うことそのものがはじめての人が複数いた。一生懸命コミュニケーションをとろうとしてくれたときにはわからないこともあったが、つながりあえて良かった。「手話を生で見るとはじめて、手話を見るのはじめて。手話って格好いいなー」と話していた参加者もいた。きっかけをつくるのは大事。（Aさん）
- グループには所属しないで、グループをまわって全体を見ていた。「身振りでもいいんだよ」と話しかけやすい雰囲気をつくっていた。聞こえない人・聞こえる人の壁がなくなっていた。（Bさん）
- スタッフが筆談ボードを書くように促していたが、参加者はそれに頼らずにコミュニケーションをとっていた。その点がよかった。（Bさん）
- 聞こえない子どもだけでなく、声で話す人もいるという側面もみえていたことがよかったと思うが。聞こえないからといって声のでない、ではないから。確かにルールはきびしすぎるとよくないかも。（Dさん）
- ルールにこだわりすぎず、自由にオープンにするのが良かった。（Aさん）

ワンポイント

発言内容と発言者をセットで記録。メール等テキストでコメントをもらった時は、コピー&ペーストで残す。

問題点・今後の課題など

- イベントは楽しかったが、交流という意味ではグループ分けに配慮があっても良かったと感じた。参加者が「だれが聞こえない人がわからない」と言っていた。最後に手話ができることがわかり、グループ内で手話ができる・できないを知りたかったという意見があった。（Aさん）
- 若い人にうまく伝わらなかった、発信力が足りなかったのではないかと。写真、映像がすくなかったため、「内容がわからなかった」が正直なところかも。動画をみながら「おもしろそう」と申し込んでくれて人もいたかと思う。「パターゴルフ」でもわからない。チラシの写真ではわからない。次回企画するときは、動画を撮って乗せる方が良いと思う。（Bさん）
- LINE、SNSで周知をしたが、なかなか集まらなかった。今後は周知の仕方を学ぶべき。聴障協、難聴者協会にお願いして周知していくのが良い。（Aさん）
- 最後の振り返りで、参加者をランダムに呼んで感想を話してもらったが、声で話す人、手話で話す人それぞれいたので、手話通訳と読み取り通訳の切り替えにバタついた。このときは通訳が2人ほしかった（Cさん）
- アーティストが使う言語は、手話が言語である人には難しかったと思う。またホールごとの説明も難しかったと思う。日本語を手話に翻訳する際、きちんと伝えたかったら、時間もすごくかかるだろう。（Cさん）
- 展覧会のテーマ「ままならない世界」に合わせて、遊び方などは既存のルールから離れてもっと自由でもよかったかも（Dさん）

備考

今後は、展覧会の初日からイベントの実施日まで、時間を空けるなども要検討

事務局記入欄

せんだいメディアテークとの振り返りは別日で実施した。

実施概要記録

記入日 2023、年 1 月 30 日（月、）

記入者名 高橋

実施日 2023 年 1 月 23 日（土）

カテゴリ、 ワークショップ

イベント名 サイレントなゴルフ場!? 手話や筆談でプレーを楽しもう!!

協働先・協力者・参加者

せんだいメディアテーク、みやぎデフキッズクラブ、聞こえない人・聞こえる人（子ども・大人含む）、26名

目的

聞こえない・聞こえにくい子どもたちと展覧会を楽しむことを目的に、「定禅寺パターゴルフ???倶楽部!!」展覧会～協働と狂騒のダブルボギー（2打オーバー）」関連企画の一つとして企画・実施。

当日スケジュール

30分前～ 受付開始

プログラム開始

- ・後援/スタッフ紹介、
- ・展覧会趣旨説明
- ・ルール説明（デフキッズ）
- ・プレーで使う手話の紹介、グループ分け・自己紹介、パターゴルフ体験（90分）、振り返り・交流



ワンポイント、

あとで見返したときに“次に活かせること”が残るように書くのがおすすめ。ほかの人にも共有でき、次の実践に役立ちます。

事前打ち合わせ（日時・参加者・オンライン/対面・内容の要点を記入）

<打ち合わせ1>

日時：2022年11月7日、オンライン（zoom） ※外部の手話通訳

参加者：みやぎデフキッズクラブ3名、みんな2名 内容：展覧会の趣旨説明、プログラム内容の検討

<会場下見（展覧会オープン後）>

日程：2024年1月11日、1月14日 ※手話通訳は、みやぎデフキッズクラブメンバーの手話通訳にお願いした

参加者：みやぎデフキッズクラブ3名、みんな1名、出展アーティスト2名（1月11日のみ）

内容：実際に展示を体験し、あると良いコミュニケーションツールなどについて話し合う。

<打ち合わせ2>

日時：2023年1月20日 ※口話、筆談 参加者：みやぎデフキッズクラブ1名、みんな1名（対面）

内容：当日の進行スケジュール、グループ分け、ルールの検討

打ち合わせ～実施までの流れでの課題・気づき

○下見兼アーティストも含めた打ち合わせで、「ナイス」「おいしい!」と書かれたツールをつくる話になったが、チームの中でツールをつくるために集まるといった準備が大変...という空気が流れたため、アーティストから「大変と感じるなら無いほうが良い」という提案があった。そこで、プログラムの前に会場にある道具（もともとパターを自分でつくることができるコーナーがあり、その材料として段ボールやガムテープが豊富にあった）でつくることとなった。

○広報について

みやぎデフキッズクラブの参加者、みやぎデフキッズクラブ関係者個人のFace&ookでイベントチラシをもとに広報。聞こえない参加者がなかなか集まらなかったため、展覧会オープン後の会場下見の際に展示の様子を動画や写真で記録し、それらをFace&ookで投稿したり知り合いに個別に呼びかけたことで、聞こえない参加者が増えた。

○グループ分けについて

聞こえない人・聞こえる人が均等に混ざるよう、デフキッズクラブと一緒に事前にグループ分けをした。

備考

メディアテークの展覧会記録映像の撮影のため、参加者から数名インタビューを実施